

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権啓発課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2292
	基本事業	人権啓発の推進		事業実施主体	市
	事務事業	人権啓発推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	基本的人権を尊重する社会を確立するため、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、研修講座や講演会の開催など、各種啓発事業を行う。		
5年度概要	人権啓発推進員（コミュニティ協議会選出）の支援 人権・同和問題指導者研修講座の開催等 ハンセン病を正しく理解する講演会、パネル・作品展の開催 人権フェスティバルの開催 民間と連携した啓発活動、企業等への啓発		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

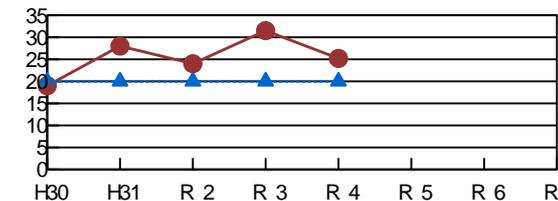
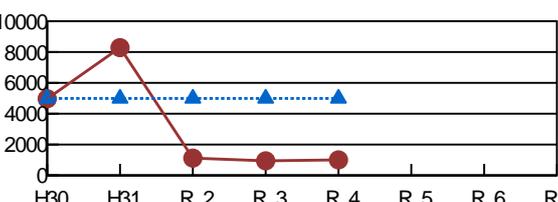
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民のあらゆる人権問題に関する啓発を行い、市民の人権に対する理解を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
講演会等の開催回数	回	3	4	4	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	市民満足度（「人権尊重意識の普及・高揚」）	%	目標値	20	20	20		20
			実績値	24	31.5	25.2		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民満足度については、目標を達成することができた。  (目標達成度)							(達成度) 126.0%
								35点
成果指標	参加人数（人権啓発推進員による啓発事業、講演会等）	人	目標値	4,990	4,990	4,990		4,990
			実績値	1,121	945	1,006		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 人権啓発推進員の工夫により様々な形態での啓発事業を実施し、広く市民の人権意識の普及・高揚に努めているが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地域でのイベント等が開催できなかったことにより、目標値を大幅に下回った。  (目標達成度)							(達成度) 20.2%
								7点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	57,978	58,515	60,435	63,031
（事業費）	[円]	35,532	35,865	37,983	40,579
（職員人件費）	[円]	22,446	22,650	22,452	22,452

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 開催回数を重ねることで着実に事業が定着している。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い参加者数が減となったものの、啓発方法を工夫しながら啓発活動を実施することで、人権意識の普及・高揚に努めた。今後も啓発活動を継続し、更なる啓発に努める。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 人権尊重都市たかまつ市民会議との連携強化に努める。 高松市人権施策推進懇談会の意見を聴取し、各種啓発事業に反映する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	男女共同参画・協働推進
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2275
	基本事業	人権啓発の推進		事業実施主体	市
	事務事業	L G B T 啓発等推進事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	L G B T 啓発講演会や講座・パネル展を実施するとともに、ポスター・パンフレットを作成し、市民に対してL G B T への認知度の向上と理解の促進を図ることにより、当事者を含め全ての人が暮らしやすい環境を整備する。				
5年度概要	啓発講演会 研修会の開催 啓発パンフレット作成				
重点取組事業	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

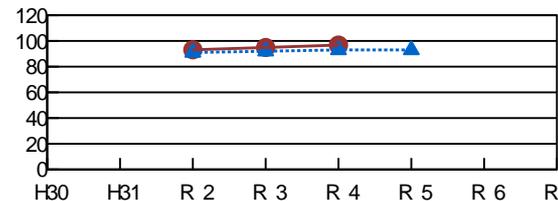
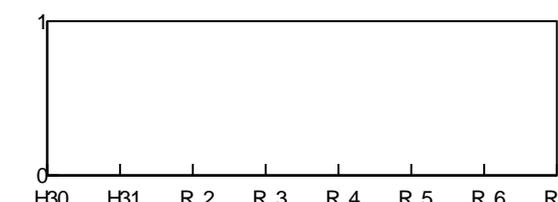
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	一人一人の多様性が尊重される社会の実現を目指し、L G B T に対する差別や偏見が解消される取組を進めていく。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
講演会等の開催回数	回	5	5	1	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	講演会等で理解が深まった人の割合	%	目標値	91	92	93	93	93
			実績値	93.1	94.9	96.8		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当事者団体を講師に招へいしたことにより、講師を介した周知も行われた結果、市民のL G B T に対する関心の高まりも見られ、目標を上回ることができた。 							(達成度) 104.1% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	10,148	7,810	7,574	7,992
（事業費）	[円]	421	260	90	508
（職員人件費）	[円]	9,727	7,550	7,484	7,484

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市内の当事者団体に委託し、当事者と家族を取り巻くテーマで啓発講演を実施することで、職員を始め市民のL G B T などの性的少数者に対する正しい知識や対応についての理解が深まるよう周知啓発に努めた。今後も、L G B T に対する正しい理解の促進等に向け、継続的に周知啓発を行っていくことが必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後も、引き続き啓発活動を行っていくとともに、L G B T 当事者の声にも耳を傾けながら、L G B T も含めた全ての人が自分らしく生きることができる多様性を認め合う共生社会に向けて取り組んでいく。